



繪本
 豐臣
 勲功
 記

七編
 五

13
 2209
 65



遠 13
2209
65

繪本豊臣勲功記七編卷之五

目録

高山右近畧故退木本寨 属 黒田軍配

神子田の智言自軍の陣と鎮むる図

黒田孝言長政不別るる図

黒田長政全孝還於軍切 属 鴻池智勇

同 図 長政軍切

四ノ五ノ六ノ七ノ八ノ九ノ十ノ十一ノ十二ノ十三ノ十四ノ十五ノ十六ノ十七ノ十八ノ十九ノ二十ノ二十一ノ二十二ノ二十三ノ二十四ノ二十五ノ二十六ノ二十七ノ二十八ノ二十九ノ三十ノ三十一ノ三十二ノ三十三ノ三十四ノ三十五ノ三十六ノ三十七ノ三十八ノ三十九ノ四十ノ四十一ノ四十二ノ四十三ノ四十四ノ四十五ノ四十六ノ四十七ノ四十八ノ四十九ノ五十ノ五十一ノ五十二ノ五十三ノ五十四ノ五十五ノ五十六ノ五十七ノ五十八ノ五十九ノ六十ノ六十一ノ六十二ノ六十三ノ六十四ノ六十五ノ六十六ノ六十七ノ六十八ノ六十九ノ七十ノ七十一ノ七十二ノ七十三ノ七十四ノ七十五ノ七十六ノ七十七ノ七十八ノ七十九ノ八十ノ八十一ノ八十二ノ八十三ノ八十四ノ八十五ノ八十六ノ八十七ノ八十八ノ八十九ノ九十ノ九十一ノ九十二ノ九十三ノ九十四ノ九十五ノ九十六ノ九十七ノ九十八ノ九十九ノ百ノ百一ノ百二ノ百三ノ百四ノ百五ノ百六ノ百七ノ百八ノ百九ノ百十ノ百十一ノ百十二ノ百十三ノ百十四ノ百十五ノ百十六ノ百十七ノ百十八ノ百十九ノ百二十ノ百二十一ノ百二十二ノ百二十三ノ百二十四ノ百二十五ノ百二十六ノ百二十七ノ百二十八ノ百二十九ノ百三十ノ百三十一ノ百三十二ノ百三十三ノ百三十四ノ百三十五ノ百三十六ノ百三十七ノ百三十八ノ百三十九ノ百四十ノ百四十一ノ百四十二ノ百四十三ノ百四十四ノ百四十五ノ百四十六ノ百四十七ノ百四十八ノ百四十九ノ百五十ノ百五十一ノ百五十二ノ百五十三ノ百五十四ノ百五十五ノ百五十六ノ百五十七ノ百五十八ノ百五十九ノ百六十ノ百六十一ノ百六十二ノ百六十三ノ百六十四ノ百六十五ノ百六十六ノ百六十七ノ百六十八ノ百六十九ノ百七十ノ百七十一ノ百七十二ノ百七十三ノ百七十四ノ百七十五ノ百七十六ノ百七十七ノ百七十八ノ百七十九ノ百八十ノ百八十一ノ百八十二ノ百八十三ノ百八十四ノ百八十五ノ百八十六ノ百八十七ノ百八十八ノ百八十九ノ百九十ノ百九十一ノ百九十二ノ百九十三ノ百九十四ノ百九十五ノ百九十六ノ百九十七ノ百九十八ノ百九十九ノ百十



玄蕃盛政驕勇破勝能戒 属 基次款款

後後亦兵束佐久間が陣へ使まの図

秀右臨馳自大垣民大杖 属 丹羽孫軍

同圖 大垣退返

同本本地益堂茶休息の図

繪本豊后言七編卷之五

江戸 八功舎徳水刑補

高山右邊畏故退本本寨 属 黒田軍配

就を好む者の其真就と親と恐怖をるん。武と好む 戦闘小

累る小似より。奥小より山右邊長房ハ中川瀬益傍が投寨

かゝる大岩山より程迫き岩倚山の投寨と守り在り一が。

先刻素山羽根田が許より。使者と遣一たりなる時ハ勇るを

を懋し驍起く。款倘爰不推進来ハ。退散さんと存小處

なり。足踏鳴しを待やどこそ。不破彦三徳山又玄塔。二千七百

八十余騎。礮こそを海来り。今亦も攻進る態ありなるうち。

大岩山小火の炎熾り。大將清秀も報をりしと着先法率



營小投来り。親く安途の懐ひをふくま。其の圍き諸寨の
 うち。堂木山の峰頂賀左衛門。大杉の上小左と。大杉山の木村小左
 久葛蒲谷の堀久を断。中の投寨。堀切の柵の。小川佐渡也。
 賤嶽の羽根田長門守。素山修理。其外。北軍小隊。依り。
 黒田。木下。赤松。明石。生納。神子田。ふり。生を。方。後。中川。が
 彼を。見。る。より。撃。破。づ。き。や。守。る。づ。き。や。と。軍。儀。ま。ち。く。り
 くる。と。ろ。ろ。小。北。國。總。勢。六。万。餘。騎。懸。ち。く。の。徳。軍。一。度。小。中。川
 坂。の。凱。歌。と。鈴。と。各。々。元。勢。合。せ。威。を。發。し。て。威。と。ふ。せ。ぶ。
 今。や。虚。を。ふ。火。を。爆。し。山。岳。小。波。を。揚。る。と。む。り。徳。軍。の
 投。寨。と。彼。等。を。見。て。猛。勢。を。て。統。率。雜。芸。ハ。その。心。中。惣。將。と
 懐。く。着。え。る。れ。ば。統。將。つ。づ。き。も。と。れ。孤。懸。一。統。起。る。と。り。とも

快中川と敵をんあ。そのく。敵の分。操。嚴。く。多。勢。と。も。つ
 て。登。り。た。れ。ば。容。易。小。出。馬。も。た。り。か。く。要。塞。を。守。り。進。出。の
 ち。此。等。要。あり。と。着。る。も。も。惜。と。あ。が。り。中。川。が。敵。死。す。
 と。視。察。し。て。是。事。あ。き。事。と。知。ら。し。め。り。これ。小。倒。て。秀。吉。の
 左。陣。大。道。の。祖。馬。ハ。誠。多。す。經。小。澤。と。投。る。後。と。死。す。
 より。於。懸。相。懸。物。あ。り。と。あ。ら。り。と。分。運。小。遊。軍。の。一。部。を
 神。子。田。才。左。衛。門。通。法。ハ。羽。柴。赤。老。臣。の。一。個。より。功。多。き。勇
 士。あり。海。山。を。こ。え。田。山。大。木。山。と。海。山。と。よ。赤。法。海。者。利。四。名。山。の。部。ハ。陣。不
 の。ま。り。と。這。給。物。と。着。る。より。も。馬。ふ。ら。ち。踏。ま。が。陣。中。を。絶。て
 一。自。方。の。統。陣。と。拮。抗。し。大。喜。の。ゆ。え。各。安。途。一。面。小。左。一
 總。大。將。秀。吉。ハ。快。小。大。道。と。所。出。馬。の。り。と。く。と。や。後。川。まで



一言の智
と以て
神子田
通清自方
諸陣の噪
動は鎮り
しむ

豊臣記 巻之五

若しとてしり程あり大軍内陣しく扱せし事不降も何
 ざれば諸おつれも堅くあり。此も後助まきつと鳴り
 飛降り。詢示されども返個度せし難公軍の這一言
 勇意と懐き稍端場て存りたり。素志は通流も秀
 吉少出馬の細かきうご大張當意の存智ありが果して
 その信不違はざりし君くされは居くあり是が中も馬田
 官公勝孝言の其陣大書の山の隈りて。賊衆小降あり
 既し北軍進軍ありし處に陣を守らうち大岩山の
 為洗交叫び次才不烈し。矜えたる由急を後隊に
 響し出戦の準備せし陣中川落去の勢と看えて大の
 端爆くと熾りたれば進士小向なく誰うわす斥候せんやと

といれり。病の下の竹森松若傑氣急双の勇士ありしが
 進も出く恭しく。乃居細作つらまのし河津あつ切しと
 勇まき小孝言大悦あり。浩る強敵の中と凌ぎ祥返らんを
 容れし。大張汝にあつだんば。誰う斥候小向あつき快く急を
 と火急の指揮。その勢と察して竹森松若驍くして勇戦
 能令敵も小活捉するも。浩る大役と被ること。這身の面目
 これも過む。然るに所免と大將より。同僚小まき式禮あり。
 馬寄併て翻流と能渡。隻敵双拍唾くと。烈風の傍く跑
 出ま。开も這松若といひるる。竹森石見守が一子なりしが。幼奉
 うし。父小難き。思田孝言不仕たり。十六歳の初陣より。言
 名をるること。既し十遺勇かもまき。被難あり。播磨大野の

の朝となりしうふ大切の命なりしものうらむは是れ成吉思汗の
 強く逆教せしむべき只形戦場の所信と命属られむる
 べー日來の報恩つらむらん逆陣の義いしくみと沖矢脱
 されしうらむと忠義不棄する粟山小寺落性ぶき怒着え
 ざればあ士が誠忠実ふゆとわらぶと孝言故意起と勵せし
 期ハ餘存あり純一き一戦場りて死するむらりが忠義と
 いのあぐも汝儂子息と信ゆ、遠地と跡を吾家名と全
 ぶあさせぶ遠地中て戦死せしより百倍の忠信義節並上なり
 餘容あり吾子息不戦死さする心慮なる歎乳人の感あり
 かろく其の信忠ふあさえん時刻移りて故国は忠孝ともふ
 慶ふなりん快くつそげと哀号あぞあ士も今ハ力なく後陣ふ

陣より長改小向ひ父公陣と移さんとも快く辞まむとりふ
 小馬田若長改長改ハ正年僅ふ十不歳の幼き身なれども
 父の血脈全うねぶ武勇ハ勿論女覚も成長の勇士ふ百倍せ
 り然も小乳士小寺粟山頭り小勅めく出陣せんと若後と
 守護しく出るるゆゑ雄々しく弱ふらち誇り山を登り絶河せ
 るり。逆陣馬田孝言ハ賊黨小判らんと馬ふ赤騎陣布と輝
 出山の指押下に陣と溜り武勇強倫の宮名落り有繫因屯
 の情不憐也。後路所敵て若長落り落行方と稍雲時陣沈
 て存りしが嗚呼されむら未練あり他や屋も先慈りて絶
 出らんむするこそろく竹森若地陣り孝言が馬も小流流
 公小沖安途早きまむ。佐久間が軍威極しといふの必定



陣を搬えん
 として黒田
 孝高一子
 長政
 遁退中
 あり



大敗つるまうらん其故を何とこれに頼ふ乃長文君の投寨の
 背あり。一堆の園ふ森攀り中川之個の兄弟より勇士軍
 の戦死より去番が凱歌の傳りも。精しく視忍まうりある
 うち。盛改を後凱歌と發人と陣殿の探し飽より。嘸く
 の中をわりの。棟木尖より崩落す。嘸くも移すを逃しへん心
 しく敗北の凶兆あり。と云條一なるは宮を深孝言。然るも
 うふうち笑ひ。うこそ斬りて看做す。一奉る自方の
 脱氣。活達さるふ是ぬぐき。然る様様。對敵守敵と一
 陣抗がん。各逃げつり。歳と養地。騎出せ。後藤又
 名備。母里太公。黒田小左衛門。竹森松若。浦上元。支あどの
 門。希波左右。後中。中野。一千六百餘騎。紫山。羽根田が

投寨ある。賊嶽あぞ脱投ける。

黒田長政全孝還願軍功馬嶋池智勇

是父をわねば是子なり。是子をわねば是父なり。と黒田長政
 清長改へ。小寺栗山小伴をれ。主従僅百餘人奉前あり。る
 閑道と行くと。おを母に又町次漸と鳥銃喊の聲。軍のる
 も遠去をれ。今年。つう。つ。又歳。幼。この。つ。つ。も。悉量
 備らる。若。長。改。儀。と。後。語。と。顧。と。姑。と。駒。の。疆。を。勒。へ
 四方を覽。一。斬。の。意。入。ぬ。鳥。銃。交。呼。次。漸。と。遠。く。あり。る。ハ
 是。戦。場。へ。向。を。ぬ。あ。と。一。これ。を。何。國。へ。伴。行。を。也。快。敵。小
 向。せ。細。腕。を。ぐ。も。嚴。父。の。一。臂。を。助。け。せ。わ。せ。太。刀。折
 る。ま。で。極。戦。一。君。の。感。帖。あ。づ。らん。此。後。も。亦。命。を。助。け



長政ハ一騎也。小寺、栗山、先づとて百歩と過し。二を
 二小馬と馳らせ。近きところ。甲斐守武田者之騎、修連者
 更へ行々少方、僅右左衛門、唯一騎。岩崎山の峯、馳と西へ向ふ
 へ、往を看るより、返りて進めると、不破、純山、馳のさき
 一が、山返去と視し、一を、宿直とて、名多さんと、栗と進
 近き、一、其、獲物、之、徒、うて、と、度、ふと、朽、憾、し、ふ、ふ
 を、か、ね、と、漏、漣、と、く、方、僅、長、政、の、ま、と、看、て、路、等、く、之、騎、を
 追、ひ、路、通、と、と、透、く、右、左、衛、門、と、れ、と、恥、と、看、て、他、軍、の、自、軍、の
 看、領、し、き、れ、と、物、持、ら、く、の、う、ち、ふ、あ、る、の、と、往、て、武、量、と、突、と
 馳、進、る、小、尾、佐、山、が、馳、下、り、く、掛、首、直、助、金、輪、傳、八、石、持、久、
 左、衛、門、の、り、の、者、か、り、長、政、へ、と、れ、は、知、り、き、れ、と、金、輪、傳、八、石、持、久、

あ、ま、り、栗、田、の、子、息、と、看、認、せ、れ、ば、斯、ハ、よ、き、獲、物、也。小、首、ふ、せ、
 大、將、を、あ、り、生、捉、く、と、ん、と、兇、射、者、と、侮、り、後、の、方、さ、く、撓、の、
 看、え、を、擲、出、せ、と、右、左、衛、門、怒、り、掣、太、刀、の、鞍、を、な、れ、り、や、と
 看、る、際、も、ま、り、金、輪、傳、と、馳、と、往、見、より、研、く、落、せ、り、傳、八、石、持、久、
 頗、り、て、退、入、せ、る、と、廉、後、を、猪、首、石、持、馬、と、追、ぐ、擲、
 る、長、政、儀、と、思、意、と、繞、り、馬、と、返、り、て、逃、出、せ、り、歎、く、と、
 更、中、の、知、り、を、金、輪、傳、も、傳、く、と、一、騎、一、隊、進、ま、り、と、退、入、
 する、際、近、く、な、る、と、看、る、より、長、政、速、く、も、鞍、腰、撫、り、先、進、
 一、猪、首、が、擲、出、鎧、尖、掛、去、返、り、力、不、直、助、が、右、の、肩、より、胸、
 膈、を、刺、ぬ、れ、り、と、研、下、ら、せ、苦、難、と、共、小、馬、より、墜、落、
 死、く、栗、山、小、寺、馳、進、り、と、これ、を、後、き、繁、ら、ひ、も、せ、り、石、持、を

一突と推隔二人が希後、捕ふ。湯きどそのと突記る。這
 際、後兵百餘人愈弛着、故二人と中、捕相執、金
 輪、八石、將又、敵、た、戦、喜、ひ、長、改
 手、自、敵、一、級、得、し、大、小、威、赫、な、り。勇、気、す、た、り、一、瀧、く、と
 賊、嶽、の、投、寨、な、る、黒、田、隊、一、級、き、く、も、勇、気、す、た、り、一、瀧、く、と
 捕、岬、あ、る、坂、口、山、の、東、南、に、陣、を、保、け、一、筒、井、入、道、順、慶、の、故
 の、進、む、と、着、る、よ、り、も、既、防、戦、の、分、格、一、く、る、が、這、方、の、進、む、と
 大、岩、山、と、攻、起、く、る、不、逆、き、當、天、中、川、瀬、公、湯、落、去、と、着、る、と
 火、の、槍、燒、く、と、煙、熾、熾、の、も、一、く、山、谷、一、時、不、响、彌、る。左、右
 とも、際、よ、る、山、右、逆、も、中、逆、敵、不、逆、び、な、れ、方、後、は、な、り、故、公、の
 進、む、き、方、の、運、方、あり、大、岩、山、と、一、流、隔、る、の、と、投、寨、山

候、後、き、し、れ、の、進、む、道、も、あ、り、と、一、緒、勢、あ、り、と、恐、怖、と、懐
 き、戦、く、懼、く、た、る、色、顯、せ、く、る、故、逆、た、逆、儀、と、又、之、と、回、ら、し、く
 松、倉、坂、田、と、彈、一、合、せ、各、陣、中、と、逆、行、く、秀、右、明、天、の、河、長
 河、と、一、合、戦、不、自、方、の、敗、を、取、ら、し、九、年、が、一、毫
 の、と、か、あ、り、に、恐、怖、く、づ、り、に、備、軍、令、不、相、習、き、自、方、と、惑、り、に
 軍、備、あ、り、に、忽、地、首、と、切、つ、き、あ、り、と、一、指、押、と、傳、へ、し、る、と
 這、一、割、詞、不、激、せ、し、れ、逆、率、侮、せ、し、る、女、途、一、て、逆、兵、の、む、を
 止、め、り、逆、九、逆、友、行、の、順、慶、が、作、り、來、り、自、人、不、報、て、の、ひ、と、も
 や、う、方、後、陣、中、に、窺、視、し、不、自、方、の、諸、軍、中、川、が、敗、を、給、て
 恐、怖、と、懐、き、敵、と、逆、戦、し、ん、と、さ、る、心、い、あ、り、て、懼、く、と、逆、相、慶
 の、と、は、ら、す、つ、し、る、乃、一、騎、敵、中、の、饒、誤、と、見、敵、す、り、り、帰、り

自方の意も安途をせ。所地へ大垣へ馳来り。羽柴殿へ信伴
 まで一息をねば秀吉大軍を率て池向もん陣。必定ありんか
 乃長が帰るまで。かあるまじく。運拔案を。動陣へあふをさうれ
 と。信援を教保し。うまう。順芝も終り。裡へおひひん。此後
 のつとも然るごとく。我秀吉の態下は。降属のまじ。今も功をも
 達を。賸去。奉山。橋の合戦より。乃道が。翻攻せし。そ。嘲。後り
 宇。模。陵。順。芝。と。い。や。人。口。最。も。朽。憾。り。今。示。遠。を
 追。去。せ。し。ゆ。り。他。門。の。進。退。と。承。り。永。く。汚。名。と。被。る。事。は。大
 恨。今。我。倘。款。の。ま。不。戦。死。す。も。追。去。し。後。快。く。行。儀。し。て
 大。垣。境。へ。信。伸。せ。し。平。生。不。悔。む。勇。氣。と。合。し。腰。甲。鼓。を
 栗。け。る。由。を。尤。道。大。不。執。統。と。詞。俾。取。知。つ。ま。り。ぬ。と。馬。小

うち。跨。只。一。騎。大。器。蓄。く。跑。行。し。不。恃。り。き。一。將。あり。筒。井
 入。道。順。慶。は。尤。道。と。海。を。和。し。を。和。す。底。机。不。寧。腰。俵。然。と。山。下
 を。視。仰。し。待。隙。不。あ。り。怒。風。を。斬。り。鴻。尤。道。馬。と。逃。ら。せ。池
 原。り。大。將。の。弟。不。統。派。を。ね。順。芝。赤。色。吟。と。統。漢。の。み。と
 燥。記。を。友。行。種。不。齊。濡。し。乃。長。大。器。の。頂。より。敵。の。動。靜。を
 濫。量。不。系。求。佐。久。間。盛。改。は。血。氣。の。大。將。あり。た。れ。ば。志。決。不。推。進。せ
 有。兵。と。綸。せ。む。我。小。怒。よ。看。え。た。れ。ば。諸。將。疑。心。と。ま。が。る。あ。や
 急。不。攻。む。き。相。も。な。り。巧。く。中。佐。久。間。不。破。あ。ん。と。這。路。へ。菟。る。よ
 登。臨。安。う。れ。其。の。も。あ。り。池。田。神。山。へ。迫。ら。れ。ば。秀。長。後。逼。も。あ
 ら。ん。と。それ。信。神。と。て。案。不。柴。田。の。勢。と。奈。し。り。あ。り。佐。久。間。へ
 勝。仗。を。面。小。向。う。斜。り。不。陣。を。張。ら。れ。ば。必。定。案。不。羽。根。田。が。凝。る

穢蕪へ推進せよ。先やこれより乃丈ハ秀吉が出馬を候さん
らゆ直地小大垣へ張向ひ。今弒り一敵の動靜と。大將へ
沿伸つらまらる。軍意の助目ハ又筒井家の現たると。重忠
子頃。愛董。躍なり。然るにその夜音あがら。羽柴殿への沿伸
と。其意あはら功あま。承所てりる。其進賊りあを
あり。慕ひ馬小移。跨り行。充拍つ。敬。蕃地小。地行
い。ま。あ。ひ。い。山。河。も。動。く。ま。ら。り。な。ら。ま。

玄蕃盛改 騎勇破 勝家戒 属 奉 決 欺 欺

獲大子向ふも。身小福なれ。其勢きこら。後知れ。を。然。依
久間。玄蕃。元盛。改。ハ。大岩。山。と。攻。陷。一。中。川。兄。弟。從。士。等。は。志
良。穢。わ。り。大。級。と。提。言。山。右。近。と。追。去。せ。させ。それの。ま。ら。る。

を伊賀守勝豊少子力大將大淫。後八所を分小も。於。作。久。間
盛。改。が。威。小。也。と。降。来。せ。き。内。通。の。軍。勢。を。う。ら。ま。ら。る。
周。り。素。より。勇。氣。を。惜。む。盛。改。これ。を。於。より。羞。恥。慢。の
心。情。長。し。既。勝。家。の。刑。戮。を。う。ら。ま。ら。る。秀。吉。が。連。兵。の
技。審。と。一。季。を。な。り。勢。威。を。直。相。賊。一。推。進。人。之。法。
ね。と。れ。依。論。う。ら。ま。ら。る。が。穢。蕪。軍。中。子。て。も。安。井。九。近。強
山。又。ま。秀。吉。秀。次。弟。の。二。人。ハ。東。西。を。馳。つ。る。勇。士。あ。れ。ば。玄
蕃。が。合。張。餘。り。も。備。を。例。の。慢。勇。紀。り。大。將。勝。家。の
穢。示。法。忘。世。新。ま。で。戦。贏。たり。一。軍。を。做。過。一。あ。ら。び。必。定。敗
せん。遠。采。あ。ら。い。聞。れ。ど。因。勝。家。の。孫。意。ゆ。り。背。き。坂。日。の
孤。危。同。然。あ。ら。い。と。三。將。玄。合。せ。れ。る。も。穢。蕪。盛。將。と。合。せ。

如く。同時に玄蕃が陣下より。綱を鳴り。謂ひ發け。やう
 今日。軍紀一統。係計。果し。當り。思の。弁の。務利。を。ね。げ。せ。り
 出。陣。の。所。を。懐。へ。高。理。の。敵。と。し。て。も。先。に。ま。り。務。家。の。中
 指。探。せ。り。秀。吉。の。常。恒。の。ね。ま。り。を。瞬。に。不。軍。法。と。變。化。を。し
 奇。正。の。名。と。傳。ふ。と。し。て。聖。機。の。指。と。傳。ふ。に。似。せ。れ。ば。勿。論。の。如。し
 あり。が。し。と。波。翻。も。識。せ。れ。り。今。自。方。の。機。威。は。一。と。い。ふ
 とも。中。川。が。技。寨。と。敗。果。せ。せ。れ。ば。自。方。の。不。幸。を。あ。く。一。敗。方
 あり。ま。り。の。も。い。ふ。に。勝。機。の。攻。臨。む。れ。ど。本。本。已。外。の。上。方。機
 必。死。と。成。り。戦。挑。ま。ば。自。方。の。損。亡。あ。き。と。あ。ら。せ。り。機。文。款
 將。秀。吉。の。在。陣。に。流。石。大。垣。あり。と。餘。り。ま。り。又。ま。り。と。い。ふ
 と。い。ふ。に。自。方。の。法。軍。魏。亮。の。場。下。へ。秀。吉。暴。隊。の。大。軍。を

率。て。備。後。通。を。ま。り。の。あ。ら。せ。り。合。戦。の。あ。ら。せ。り。免。れ。ま。り。一。種
 深。思。と。徹。念。し。ま。り。最。切。不。味。り。す。り。悍。勇。不。敵。の。佐。久。間
 盛。政。二。人。の。洞。を。矜。り。あ。ら。せ。り。不。具。氣。を。頭。領。と。し。り。各
 の。陣。も。懸。り。と。あ。ら。せ。り。方。僅。上。方。機。の。統。一。と。察。り。し。中。川。傾
 へ。と。懸。り。と。あ。ら。せ。り。故。に。又。は。動。機。を。怖。し。大。陣。孫。八。を
 初。め。て。陣。集。と。し。し。單。倫。多。り。能。令。羽。堂。場。百。万。あり
 とも。い。ふ。に。我。勇。兵。不。敵。と。し。ま。り。ま。り。秀。長。本。在。と。し。り
 是。亦。怖。り。軍。を。し。り。中。川。攻。め。し。り。軍。の。知。り。し。り。秀。長。那。里
 の。勇。あ。ら。せ。り。後。通。を。ま。り。し。り。然。ら。ず。自。己。が。星。堡。と。守。り
 稍。却。後。病。者。故。り。有。り。と。し。り。又。秀。吉。が。此。處。と。矜
 大。垣。より。荒。地。を。あ。ら。せ。り。人。馬。を。不。信。考。せ。り。兵。の。用。に。違

後者又云諸軍決ハ年白不畢しといふも。其後拔着の
 功兵ある由急常不孝言の信と諺を以軍織といふハ月
 こそ也。席下臨まざる律を以て然るも今日も此不在一が案と
 進出之將より向ひ。今日大村の軍後におのが愚拙と敵を
 東軍も失禮あがる。其居りて不存と評ざるも不忠なり。
 運遭中川言山ぐるより。法政忠輝と生ト。自方十を以て
 免おまとも。敵を破るも亦疑し。憐れく運隊の防衛法
 小居不命属らるふおあてら。自方の命士を望も換せは
 今日中ハ故を以城攻於縁せせりおせん。若し入る河ハ意も
 あれ大將秀吉若津おらん。意易氣お演けるおを桑山
 羽根田大少悦び。是下が軍意と絶し。今日の危殆と凌が

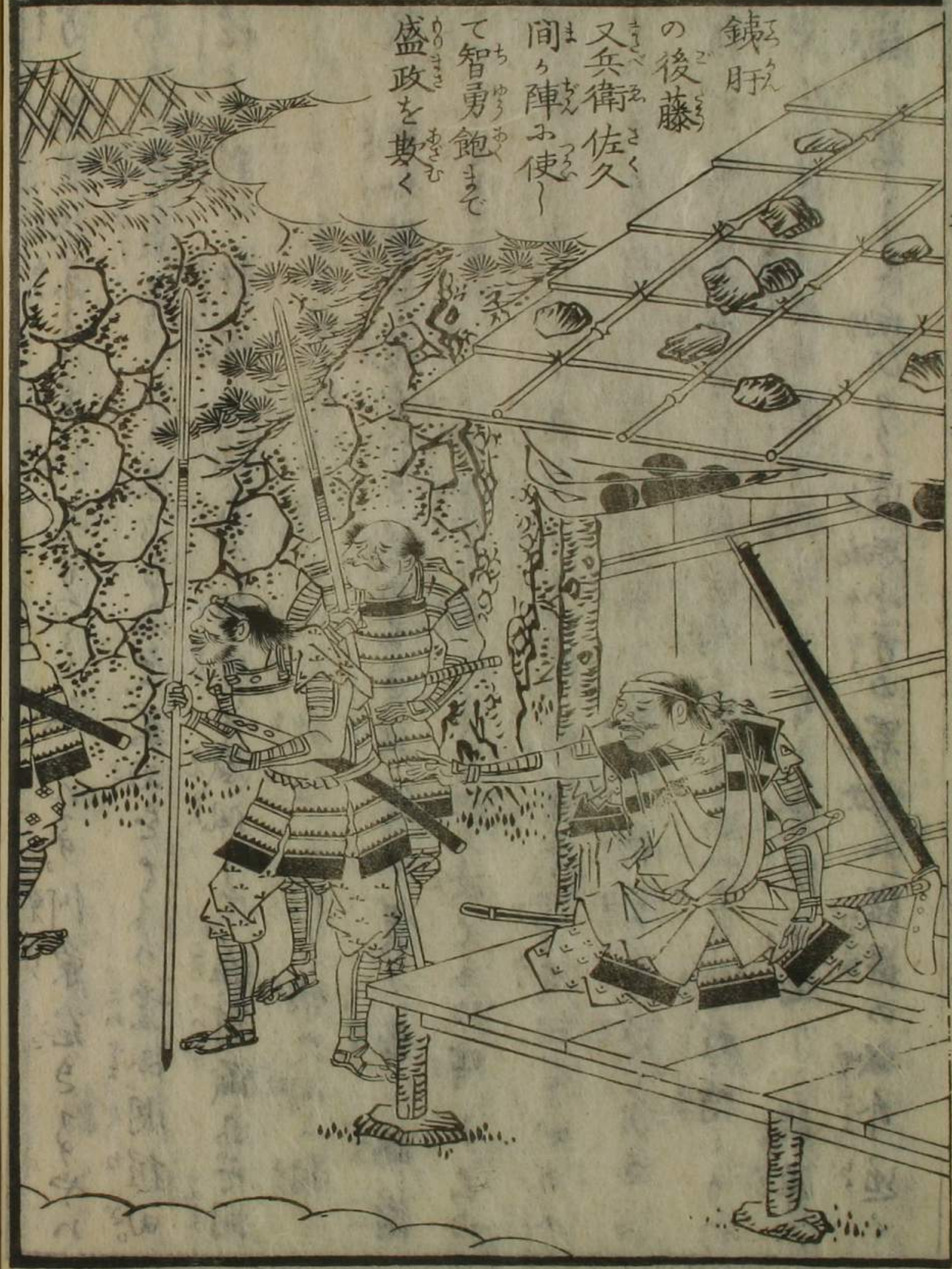
るおあ。重くも明日ハ秀右公尚境ハ後通あて。然る時
 ハ佐久間盛政ハうある大軍あり攻着るも。相場さがる律や
 ハおらん又も基次が律付ハいうおぞやと礼ねるおぞ又云法
 法政の顔又と窺ひ。綱輪ハ云出たるハ其ハ後不和平の詞を
 東行ハ巧云法さる同敵をさき法才と演誠希勢と賺えん
 何の難き事ららん。斯もさバ給るお似せれど。乃居故の
 取をさき。理と案期ハ詞を向る。其謂故ハ佐久間と叙おま
 の法將軍。既ハ中川の技寨と攻拔進ハ陣陣共。自方却て
 懸危を生せん。然るも北を懸ハさくして猶も案控進あるハ
 正ハ勇不給るものあり。其孫若か若法も。戦務ハ將給
 るも其ハ取をさく。謂る。そのおあを盛政ハ。早少秀右の後

逼るまじくち攻陥さんむ結搦ありぬ。這方より一々同様の詞と
 言送りあひかゝるむを致さず。徳ひりふさんそのうち亦係畧
 ありと詞の失不官官備孝高不身の態ふと後者も向ひ
 その豫計理ありといへども。吾今業田一和賸な。同様のまゝと
 致すものありぬ。自方まゝかゝり力と失ひ戦と成て逆教をば
 然ある時ハ致さず。雅先と運地と流るものあり。這我ハ
 用さずと一と重きを又官備推返一機と察て変と懸る
 ハ。獲一うさる軍強の常あり。今日中ハ自方の人々安生せん
 こゝ一奉ふあり。只僅乃臣ハ水伝ハ命と致て致さぬと夜
 小入るまゝの防止のせん。夜ふ致りあは野陣といふも。既
 一々破りぐら。勝てや此屋漁涸と播く。要るまゝ播り

万一敵を攻めたる奇討をりつと破らん。何東延きりやハ
 あると軍意をば一々出さるまど。美田をとりし素山羽根田
 徳士一列の致統も。後者が智勇と感佩して運計徹ふを同
 意しつら。然るといへども。誰あつと致陳と判り依久間は對
 理と親和賸と致さず。其のなきはつとせんと各々誘導
 せしむるまを。又官備業て。業一々や。決てもの得小志の
 使節ハ乃臣まづう進紙。小官業を親着て。得彼のませりハ
 志一。といふは。徳將ハ致文致び。是下使節と達とのあり
 謀計頓小成能せん。近頃芳頼ありといふも。只此時よりハ
 志一。といふも。又官備業も。得るまを。急速準備一。致陣
 巍々然とて向ひつら。這胸小官の軍勢ハ賸嚴の故介迎



鏡肝
 の後藤
 又兵衛佐久
 間々陣み使
 て智勇飽ませ
 盛政を欺く



最上もさうして後々さされた。言蕃が方へ使士を達し
 運ぶ。勅もさう。豊政勿く承引なく時我意の。後々
 由る。次安井。徳山。後。更く。後。う。ち。ふ。後。家。方。後。の。堪。が。と
 くや。お。も。え。れ。ん。毛。受。久。右。衛。門。照。景。氏。を。い。れ。さ。れ。令。と。傳。へ。て。重
 され。う。う。う。う。さ。う。く。運。送。せ。し。ま。う。一。期。を。務。め。軍。少。の。運。中。に
 之。の。あ。ま。り。も。其。本。と。思。ひ。運。送。さ。る。が。名。將。も。謂。つ。て。は。し。ら。ず
 流。傳。と。運。揚。ら。し。ま。う。と。傳。復。し。し。ら。ず。不。破。安。井。傳。も。河
 を。流。し。若。く。運。送。と。勅。め。ら。れ。ば。言。蕃。大。に。嘲。笑。し。て。然。し。て。は
 故。う。恐。ろ。う。く。水。岡。より。遠。地。を。得。て。出張。せ。ざる。が。勝。家。も
 ちや。老。弱。なり。之。を。運。送。の。期。も。短。く。も。明日。も。運。送。も。上。洛。を。い。れ
 ば。それ。の。准。備。を。せ。し。ま。う。一。賊。難。ハ。ち。也。既。に。今日。中。に。順。得。約

あり。そ。の。亦。も。亦。秘。計。の。内。通。せ。し。ま。う。今。大。に。我。も。小。倉
 して。賊。衆。の。要。塞。と。爲。す。所。も。同。然。な。れ。ば。彼。令。亦。右。大
 姫。も。此。若。兵。も。い。は。れ。人。馬。疲。れ。て。戦。場。の。東。西。の。用。も
 遠。く。う。う。う。う。さ。う。く。運。送。せ。し。ま。う。行。程。十。二。四。里。あり。ね。れ。ば。明日。あ。り
 づ。の。當。り。也。か。う。そ。れ。を。も。我。部。隊。し。て。本。軍。も。攻。取。ら。ん
 後。秀。吉。氏。も。一。社。傳。揚。し。て。豊。政。が。表。名。と。曰。海。へ。出。せん。
 是。下。達。の。腫。病。軍。も。小。倉。へ。逃。行。し。も。南。河。へ。降。し。も。私。を。若。く
 て。運。送。せ。し。ま。う。船。を。離。り。船。を。務。め。て。傍。若。兵。の。相。あり。る
 由。を。不。破。安。井。傳。の。心。中。密。り。再。傳。を。運。送。し。ら。ず。毛。受
 照。景。氏。も。傳。揚。し。と。河。と。見。し。て。嘲。し。け。し。も。豊。政。も。さ。う
 傳。し。ん。文。子。傳。り。也。傳。揚。し。し。ら。ず。亦。さ。運。送。も。せ。し。ら。ず。亦。さ。

久松も今も御多し喜しくして帰るべし。誠子も氷を泥次守ありませ

秀右臨馳自文烟民大捷属丹羽發軍

龍の正し行んとするころ雨を布。虎の正し奔らんとする。龍の正しと豊公の性其何を臣侍あうさくんや。然ちとる。筑前守が在陣ある。濃州大畑への駒馬の田神ふを親さす。東野大杉。賊殿より河伸雪元の花がぬく。腕子中川清秀が戦死をまて報りある。最も預る。吾流より近づく引返さづき。諸次もあつら。法聖。諸酒。神子田俣も命盡く。山河新く帰路小瀬澤をさへり。それく御民へ令せし。準備をさるる。身不思議の事とをあれ先達て

秀右は本より香返して。攻車と困まんとして。小令沢川。あ己川。

大雨あり。長久川。小令沢川。あ己川。

秀右は小川より此方小瀬澤と屯し。攻車不攻。龍一賊殿を抜んとする。彼方より援きて。秀右は攻勢を

龍一賊殿を抜んとする。彼方より援きて。秀右は攻勢を

龍一賊殿を抜んとする。彼方より援きて。秀右は攻勢を

龍一賊殿を抜んとする。彼方より援きて。秀右は攻勢を

龍一賊殿を抜んとする。彼方より援きて。秀右は攻勢を

龍一賊殿を抜んとする。彼方より援きて。秀右は攻勢を

龍一賊殿を抜んとする。彼方より援きて。秀右は攻勢を

龍一賊殿を抜んとする。彼方より援きて。秀右は攻勢を



歴々として。流布の末、尾尾成明と、隆母の軍艦に、舟を載せられたるが、今も全うなき船に、同月廿日の中、申刻、道士と
咄々たる、紀さゆふ、墨賜り、茶面の茶、田を、所、質ありあつた。

柴田らち、早苗、ゆりゆり、する、和月、ありあ

と、吟と、いひ、列兵の、結士を、賜り、あつた。勢、さうさう、不、後、不、遠、遠の
合戦、秀吉、一、大、大、の、討、敵、あつた。あつた、も、軍、の、必、勝、あつた。あつた、
新、骨、解、身、せ、し、先、秀吉、が、正、冠、を、脱、ん、大、綱、骨、と、宣、入、声、也
概、長、野、中、腹、が、漸、暴、々、卒、出、た、是、先、後、が、陽、臣、湖、と、海、也。
鱗、時、純、撃、の、名、馬、なり。秀吉、さうさう、大、綱、の、額、を、二、度、扱、ひ
爾、な、さ、う、這、行、程、を、駈、脱、づ、き、と、林、あ、つ、た、勢、あ、つ、た、あ、つ、た、
よ、と、宣、あ、つ、た、遊、あ、つ、た、最、終、中、く、斬、ひ、は、是、中、不、意、あ、つ、た、あ、つ、た、
其、つ、と、看、る、海、よ、髻、撥、技、身、と、廻、ら、せ、て、翻、流、と、塞、濟、脱、小、腰、

門を、せんと、する、兩、赤坂、の方、より、送、方、と、當、て、西、一、門、地、不、就、あ、つ、た、
この、何、り、何、者、あ、つ、た、と、看、行、う、ち、朝、鳥、の、像、く、近、急、さ、う、は、是、箇
井、家、の、功、居、あ、つ、た、偽、た、近、友、行、あり。秀吉、斯、と、高、と、し、流、流、の
いら、め、と、命、せ、た、れ、が、報、と、馬、より、逃、で、去、中、川、瀨、台、場、の、戦、死、不
送、ひ、高、山、右、近、の、送、を、不、及、び、ぬ。シ、テ、盛、政、の、送、さ、う、や、進、さ、う、や
「さ、ん、ど、ら、よ、佐、久、間、が、我、慢、ま、さ、う、強、索、賊、敵、を、も、系、取、ら、ん
と、揚、新、く、着、え、ぬ。」「何、者、さ、う、や、小、國、勝、と、壘、不、ま、る、財、兵、勢、也、
秀吉、隆、臣、に、取、せ、し、元、より、流、さ、さ、う、中、の、斬、あ、つ、た、佐、久、間、盛、政、然、る、流、り、て、出、戦、せ
ど、と、その、理、を、辨、り、し、儀、同、を、見、立、し、と、中、川、を、解、と、さ、し、壘、を、看、せ、さ、う、な、れ、が、言、書、中、川、を
撃、取、り、て、遠、小、澤、へ、大、旗、不、及、ん、身、を、置、し、む、
監、獄、殺、害、の、は、智、計、不、及、ん、身、を、置、し、む、
意、味、快、く、れ、と、宣、あ、つ、た。今、や、天
地、も、爾、る、を、さ、う、よ、大、笑、し、あ、つ、た、氣、多、と、親、上、左、近、友、の、詞、也、
小、尾、左、兵、衛、で、所、送、遊、つ、さ、う、さ、う、大、將、の、所、謀、畧、今、く、成、就、

つらつらしを。悲悦をいまわらせんがたあり。妙策奇策例
 多し。その中にも。別々運遣の大謀ハ。吾輩を難く引着
 ぬ。小軍を敗りぬの源。子房以龍が漢代子も見む。源
 廷尉補廷尉が本朝も。亦古例と聞さる。所軍も其の量
 十分の大勝利とこそ存さる。と驍然して云條しこれハ。
 秀吉彼然と笑せぬ。運遣謀あり謀計ハ。其方あるを
 後とのなり。殺時凱歌を揚げざるや。勇で待と宣ひつも。
 所贈を賜りければ。橋左近一足先へ馬と跳せし。退返を秀
 吉徳勢と顔とぬ。太刀抱割て正頼も當ぬ。弓矢八横。運
 合裁ハ。大勝利を得ざるぞ。吾續けと宣ひ。正一門地も絶
 出むべ。進士も弁門士も我者なり。と。所恨慕ハ。未本尚て發

軍を。然れども秀吉ハ。山崎の例もある。増々。略次も遠う。去
 騎は馬ハ大綱なり。その疾き。吐炮の像く。さうさ大者。ふ
 たりて。取次の御民不在の軍。それハ。羽柴秀吉なり。必務の
 軍も。頼りんとて。法軍。運地と通る。あれハ。合糧。或ハ。當。馬。菊
 等。派。出。され。軍。務。も。違。不。復。責。物。も。百。倍。せん。と。拘。せ。ぬ。ふ
 て。只。一。法。風。追。雲。の。花。が。像。く。墓。地。も。絶。ぬ。大。垣。を。掃。む。ハ。
 申の申刻あり。玉村より。河川の隙。目。合。く。營。々。が。大。垣。
 河川まで。喜。照。村。あり。孫。名。寺。河。原。寺。河。原。寺。を。出。途。く。菓。子。あり
 勤。め。す。の。せ。て。馬。上。村。で。法。信。一。々。れ。が。法。橋。極。あり。あ。ら。び。て。
 後。不。承。印。と。賜。り。る。寺。願。亭。石。庭。也。然。れ。秀。吉。長。濱。に。在。城。せ。し。と
 一。ま。ぎ。り。恩。沢。厚。き。徳。と。感。して。運。進。意。の。百。姓。聲。と。れ。ゆ。と

松鉅燒連。送道給不元満を。孫小先年長濱城を築回務
 豊小探を附謀計を疎されたる也。時こそ来るに御民奇
 傍。紙旗ありて。佛具不用也。令楠綿の内安帷帳と。思懐
 推搦。白外套と被白翼と。野も山も引継て。大軍
 の相小見えける。殊勝もす。時こそ。米一針宛炊成。木本可持。來不忘其恩。賞可相計。由方々
 告送之。或二里三里或五里六里。運之野人懷惠如此云々。
 お小後馬小息とも吐た。うつらふ泡るを。まご二附を。まご
 一が。登くも小谷と絶絶。五馬上の川小騎投。まご馬ハ一怒。刺
 て。茶藤物布倒。まご。秀右も速く鞭引。紀。被刺。会徳が
 例。又あり。爾大駒や。まご。一里あり。過。まご。疲。跑。援。て
 それを。投げ。雨。あ。まご。傳。が。了。と。宣。まご。怒。一。家。子。哦。放。と。駟

記。馳。嘶。まご。勃。然。と。跑。出。を。諦。断。まご。小。突。あ。る。て。まご。敢。の
 成。の上。刻。不。雨。の。刺。と。木。本。の。里。小。騎。若。まご。地。義。賣。の。洞。場。あ。て
 要。時。休。息。せ。まご。まご。福。あ。く。活。勢。泡。着。まご。軍。威。高。大
 小。見。え。け。る。機。會。まご。長。濱。の。住。街。民。衆。まご。と。軍。會。統
 吹。と。軍。号。と。懸。一。の。まご。を。懐。一。まご。後。豊。公。治。天。下。の。初。小
 長。濱。城。下。の。民。衆。へ。都。て。傳。任。地。を。賜。り。諸。没。免。許。せ。り
 まご。う。り。と。を。今。尚。まご。地。小。格。を。疎。せ。り。然。れ。まご。不。相。葉。の。所。勢
 い。まご。も。新。ら。に。統。着。まご。れ。先。や。自。方。小。勝。力。と。附。ふ。と。義。兵。盛
 右。邊。門。を。迫。り。唱。也。海。部。民。衆。と。荷。擔。ら。まご。動。生。小。小。走。登。り
 喊。を。揚。よ。と。令。せ。まご。都。を。疎。まご。一。家。子。を。まご。名。を。まご。と。し。て。



ひろ吉水
 本之地蔵
 堂前めて
 一息と補ひ
 諸軍と
 調整あり



豊臣
 吉川

ありく。さうす。一。於色ふつら。今姑く。技藝と望固く守持を
 一。殺時敵を盡す見ふ。餘收とと。命遣されたる。備
 亦作久間。盜改へ。浩る。こころ。愛子も。細く。今や。賊窟を。交
 取。殺。死。と。自己。が。要。要。と。一。敵。を。容易。退。扇。さん。と。権。威。と
 振。り。し。勤。つ。ら。身。小。丹。羽。又。麻。呂。島。長。秀。へ。既。小。江。呂。坂。下。の
 城。を。出。帆。ふ。一。ま。つ。教。習。に。ある。陸。津。海。津。へ。七。千。陸。續。と。體。休
 あ。さ。せ。せ。少。の。海。山。志。小。播。磨。ん。と。て。老。黨。星。月。古。高。三。浦。坂。井
 子。右。衛。門。江。口。三。浦。右。衛。門。と。其。外。尾。從。馬。廻。千。有。餘。人。を。隨。從。さ
 一。陣。防。慰。を。も。兼。ふ。所。酒。備。を。ら。ち。齋。せ。同。ト。く。廿。日。の
 未。申。小。濱。近。く。據。陣。し。り。諸。怨。又。小。到。る。ま。山。谷。島。統
 の。喜。喊。の。声。頻。不。烈。一。く。聞。え。り。ち。長。秀。袖。領。不。突。立

挙り。脱と。言。根。を。膽。作。ら。種。く。の。旗。當。慄。那。谷。小。動。き。迄。意
 小。乳。且。そ。東。西。凄。く。不。見。あり。備。小。軍。推。進。て。自。方。の。技。藝
 を。攻。隔。一。威。勢。溢。せ。て。斯。を。り。聞。え。つ。ら。の。あり。先。運。駒
 ぞ。乳。一。自。方。と。技。助。む。ん。ば。あ。さ。さ。ら。快。く。船。を。諸。小。島。よ
 つ。を。あ。く。と。指。揮。あ。ら。る。派。江。口。坂。井。傳。大。一。休。り。て。其。を
 狸。小。島。も。後。一。軍。小。島。と。接。ひ。率。を。傳。む。り。を。せん。より
 蚤。く。坂。下。一。退。返。一。堅。く。守。城。一。あ。ら。る。直。一。う。ら。め。と。一。軍。一
 ち。を。長。秀。声。を。懸。り。て。然。る。と。弓。矢。取。射。が。岩。坂。弁。一
 伝。義。を。汚。を。倫。策。い。か。る。を。修。為。あ。ら。る。の。ぞ。や。最。初。一。伏。し。る
 海。津。の。名。を。一。隊。小。合。せ。引。返。さ。せ。と。命。を。る
 を。諸。士。懈。怠。て。海。津。より。只。里。殊。の。踏。次。あり。勿。く。今。の。間。小。合

ざねが波ふきまじりしをまじりし。重きを長秀頭取うち振り。其まじり
 微少不存あり。東福正の朝の編舒なり。別才賦獄の加勢
 ごとく坂本の操と丹羽又前左衛門守忠と。吟との形と
 活る小勢といかりあり。定めて多勢と家をさす。子。登。撰。子。
 と指揮を烈中。船を早めさせし。戦場より。功老
 ありと。其後感ざるその多うりき

繪本豊后勳功紀七編卷之五 終

